

# 令和3年度(2021年度)事業検証(方向性未決定分) における進捗状況等について(素案)

令和4(2022)年9月  
宝塚市



## 【事業検証について】

宝塚市では、宝塚市行財政経営方針（令和3年度～令和12年度）において、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）までの3カ年で時代の変化に適応し続けるための基盤の強化を図ることとしており、その一環として、市の裁量経費である上乗せ横出し事業\*1、市単独事業\*2について、成果の視点を基に、有効性、効率性の観点から事業検証を実施し、今後の方向性を示すこととしています。

令和3年度（2021年度）は、19の事務事業について検証チーム\*3で事業検証を実施し、宝塚市行財政経営戦略本部\*4で今後の方向性等の検証結果をとりまとめたところですが、今後の方向性の中で検討事項としている以下の事務事業について、引き続き検討を行い、その状況をとりまとめました。

なお、以下の③以外の事務事業については方向性の決定に至っていないため、今後も引き続き検討を行います。

区分	事務事業	事業概要	担当課	ページ
上乗せ横出し事業	① 障害者（児）医療費助成事業	福祉医療制度は、市民の健康保持・福祉増進を目的として、兵庫県との共同事業として実施している。市民が、安心して医療を受けることができるよう県基準に加え、市として対象者の拡大と所得制限の緩和を図り制度の安定維持に努めている。	医療助成課	2
	② 乳幼児等医療費助成事業			
	③ 地域活動支援センター及び障害者小規模通所援護事業	障害（がい）者等に創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜を供与することにより、障害（がい）者の地域生活を支援するため事業所に対し補助を行う。	障害福祉課	3
市単独事業	④ 高齢者社会参加・健康促進事業（高齢者バス・タクシー運賃助成事業）	4月1日現在満70歳以上の市民のうち④身体障害者手帳・療育手帳を所持していない市民にバス・タクシーに使用できる500円の助成券を⑤手帳を所持している市民にタクシーに使用できる430円の助成券を、年間10枚交付する。④⑤とも福祉タクシー・リフト付きタクシーの助成対象者を除く。	高齢福祉課	4
	⑤ 障害（がい）高齢者タクシー運賃助成事業			

\*1 上乗せ横出し事業

市の裁量で実施しないことが可能で、国県制度分を実施の上さらに拡充しているもの。

\*2 市単独事業

市の裁量で実施しないことが可能で、市の単独事業であるもの。

\*3 検証チーム

事業検証を行うチーム。企画経営部長、行財政改革担当部長、総務部長、事務事業所管の各担当部長、各担当のほか、政策アドバイザーで構成。

\*4 宝塚市行財政経営戦略本部

行財政経営の主要課題への対応や方針等に関する事務を所掌。市長をはじめ、市の幹部職員で構成。

<b>事務事業</b>	障害者（児）医療費助成事業、乳幼児等医療費助成事業		担当課	医療助成課
<b>主な議論の内容</b>	<p><b>&lt;有効性&gt;</b></p> <p>① 成果指標については、他市においても設定が困難としている状況であるが、本事業の効果を測ることができるような市民意識に関する指標を検討できないか。</p> <p><b>&lt;効率性&gt;</b></p> <p>② 乳幼児等医療の自己負担の導入については、近隣市では所得制限を超えた世帯に対しても負担金の一部を助成するなど制度の充実を図っており、本市においても少子化対策や子育て支援施策の充実に取り組んでいる状況から、見直しは慎重に行う必要がある。子ども家庭庁の設置など国の動向も注視しながら、子ども施策のどこに力を入れていくのか、施策の方向性も含めて引き続き検討する必要がある。</p> <p>③ 中度の障害（がい）のある方への医療費助成については、今後、対象者が増加していくことも踏まえ、障害（がい）者施策としてどこに力を入れていくのか、施策の方向性も含めて引き続き検討する必要がある。</p> <p>④ 所得制限にかかる世帯合算の導入については、公平性の観点及び共働き世帯の増加という時代の変化に即していない観点から検討が必要ではないか。また、その際、施策の方向性も踏まえ検討する必要があるのではないか。</p>			
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 事業拡充	<p>① 市民アンケートによる成果指標の設定について検討する。【R4年度】</p> <p>② 乳幼児等医療の自己負担の導入については、子ども施策の方向性も含めて引き続き検討する。【R4年度】</p> <p>③ 中度の障害（がい）のある方への医療費助成のあり方については、障害（がい）者施策の方向性も含めて引き続き検討する。【R4年度】</p> <p>④ 世帯合算の導入については、受給世帯間の公平性の確保の観点から所得制限のあり方や、子ども施策・障害者施策の方向性を踏まえながら引き続き検討する。【R4年度】</p>		
<input type="checkbox"/> 現行通り継続				
<input checked="" type="checkbox"/> 手法、内容の見直し <small>（成果指標の見直し含む）</small>				
<input type="checkbox"/> 縮小				
<input type="checkbox"/> 廃止／休止				
<input checked="" type="checkbox"/> 宝塚市行財政経営行動計画での進捗管理				
<b>備考</b>	-			

※「方向性」で検討事項としているものは、決定には至っていないため、引き続き検討を行います。

※「方向性」の文末の【 】は、取組を実施する又は開始する予定時期を示しています。

<b>事務事業</b>	地域活動支援センター及び障害者小規模通所援護事業		担当課	障害福祉課
<b>主な議論の内容</b>	<p>&lt;有効性&gt;</p> <p>① 運営について事業所と市が話し合う場を持つことが必要であるため、補助金の実地調査に合わせて対話を行うこととし、地域活動支援センター及び小規模作業所に係る実地調査箇所数（市内）を活動指標として設定した。</p> <p>&lt;効率性&gt;</p> <p>② 小規模作業所については、県政改革方針により県補助は R4 年度から段階的に減額され、R7 年度に廃止とされている。地域活動支援センター等への移行を促進するため、市補助も逡減させ、R7 年度に廃止することが必要ではないか。</p> <p>③ 事業所への家賃補助については、近隣市と比較すると手厚くなっている実態を確認した。引き続き実態の調査を進め、減額について事業所と協議する必要がある。</p> <p>④ 他市の施設に対する上乘せ横出し補助については、他市が本市と同じ補助をしておらず有効性が低いと考えられるため、県基準に合わせる必要があるではないか。また、市内の施設については、市外からの利用が多い施設もあり、補助の基準について検討することが必要ではないか。</p>			
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 事業拡充 <input type="checkbox"/> 現行通り継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法、内容の見直し <small>(成果指標の見直し含む)</small> <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 宝塚市行財政経営行動計画での進捗管理	<p>② 小規模作業所の運営に支障を来さないよう R6 年度までは補助率を維持し、R7 年度に廃止する。また、現作業所については、地域活動センターや他の法定サービス等への移行を働きかけ、利用者が継続して利用できる環境を整えていく。【R4 年度】</p> <p>③ 事業所の運営への影響を考慮しながら事業所と意見交換を行い、家賃補助の減額に向けて取り組む。【R4 年度】</p> <p>④ 他市の施設への補助については、他市と協議しながら県基準に合わせることを検討する。また、市外からの利用が多い市内施設については、本市の手厚い補助をより多くの市民に還元するため、市民の利用者を増やすための基準の見直しに向けて取り組む。【R4 年度】</p>		
<b>備考</b>	-			

※「方向性」の文末の【 】は、取組を実施する又は開始する予定時期を示しています。

事務事業	高齢者社会参加・健康促進事業（高齢者バス・タクシー運賃助成事業）、 障害（がい）高齢者タクシー運賃助成事業		担当課	高齢福祉課
主な議論の内容	<p>&lt;有効性&gt;</p> <p>① 本事業の目的は高齢者の健康、生きがいづくりであるが、その成果が見えにくいいため、事業効果などの現状の把握が必要である。一方で、対象者が増加する中で現行の制度を継続することが困難な状況も踏まえ、社会参加、健康・生きがいづくりに向けた持続可能でより有効な手法を本事業のあり方も含めて検討していくことが必要であるため、今後の事業展開につながる調査を行う必要がある。</p> <p>&lt;効率性&gt;</p> <p>② 高齢者人口の増加に伴い、本事業の対象者数が増加を続けており、今後もさらに増加することが見込まれる。また、事業費も増加傾向にあり、近年はコロナ禍の影響により減少したものの、コロナ禍が終息に向かえば事業費が増大していくことが見込まれる。このため、より効率的・効果的な手法について検討する必要がある。</p>			
方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡充 <input type="checkbox"/> 現行通り継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法、内容の見直し <small>（成果指標の見直し含む）</small> <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 宝塚市行財政経営行動計画 <small>での進捗管理</small>	<p>①② 事業の現状把握も含めた高齢者施策に関する調査について、R4 年度に設問項目を検討し、R5 年度に調査を実施する。【R4 年度】</p> <p>調査結果やより効率的・効果的な手法の検討結果を踏まえ、今後の方向性を検討する。【R5 年度】</p>		
備考	—			

※「方向性」で検討事項としているものは、決定には至っていないため、引き続き検討を行います。  
 ※「方向性」の文末の【 】は、取組を実施する又は開始する予定時期を示しています。